

## 5 利用者サービスに関する取組

### (1) 利用促進計画

利用者サービスを含め、有料公園施設の利用を促進するための基本的な方針、当該方針に基づく具体的な業務の実施要領を示してください。また、年度別の実施計画についても示して下さい。

### (2) 自主事業への取組

利用者サービスの向上に向けた自主事業の取組について、取組の基本的な考え方と取組の具体的な内容を示して下さい。

## 5 利用者サービスに関する取組

### (1) 利用促進計画（利用者サービスの基本方針）

両公園での利用者サービスの企画・実施に際して、当協会が運営方針とする、公益性「5つのK」を基に、両公園の事業目標1「みどりの価値向上」及び事業目標2「市民協働や地域・大型イベントとの連携と情報発信」の達成を目指して取り組みます。

公園の周辺は、幹線道路に囲まれた交通の要所であり、さらに創成川公園は、夏の涼を楽しむ子どもの水遊びができる河川が隣接しています。

両公園は商店街やオフィス、マンション、住宅、ホテル、病院、学校関係者等様々な方が利用していることから、今後とも札幌市の関係部局と連携を図り、利用者の安全・安心とサービス向上を目指します。

特に大通公園は、明治・大正時代から博覧会や祝賀行事等が多数開催され、現在も「さっぽろ雪まつり」をはじめ、「ミュンヘン・クリスマス市」や「オータムフェスト」、「YOSAKOIソーラン祭り」、「さっぽろ夏まつり」、さらには「北海道マラソン」など大型イベントが多数開催されています。これらイベント主催者と連携するとともに、ホームページやインフォメーションセンターを活用したタイムリーな情報発信により、幅広い利用者層のサービス向上に努めます。

### (2) 自主事業への取組

#### (2) - 1 取組の基本的な考え方

「4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容」で記載したように、新たな公園利用と利用頻度の向上を目標とし、中心市街地に位置する立地条件を生かして取り組みます。

主に大通公園で開催される各種大型イベントではカバーできないような公園利用の幅広いニーズに corres 応するべく、子ども向けのイベントなどを企画します。また、インフォメーションセンターの運営で、観光客や土地勘の少ない来園者の利便性向上を図るとともに、西3丁目でカフェテラスを運営し、日常的なくつろぎと安らぎを提供していきます。

#### (2) - 2 取組の具体的内容

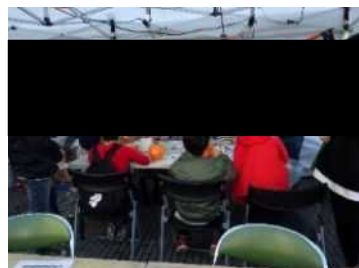
##### 自主事業実施内容

##### ① 各種イベント（公益事業）

「4 事業の計画及び実施に関する業務の実施内容」の「イベントの開催」（P.107）で記載したように、両公園では、さまざまな公園活用イベントを開催します。夏休み子どもボランティア体験、大通公園あそびの会、大通公園ツアー、公園まるわかりガイドツアー

一、創成川公園まちの灯りなど、無料で子ども達をはじめ市民が気軽に参加できるようにして、公園の利用促進につなげます。また、創成川ハロウィンでのランタン作りや創成川公園まちの灯りでのカラフルろうそく作りなど、材料費のみで楽しめる企画も好評を得ており、例年、材料がなくなるまで参加者が絶えません。

今後も、地域の子ども達を含め市民が気軽に参加できる自主事業を継続して行い、公園の利用促進につなげていきます。



ハロウィンのプラカップランタン作り



まちの灯りのカラフルろうそく作り

各種イベント（公益事業）					
実施時期/回数	随時				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
支出予定金額	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
収支予算	▲ 10,000円	▲ 10,000円	▲ 10,000円	▲ 10,000円	▲ 10,000円

## ② イベント臨時売店（収益事業）

大通公園バラフェスタと創成川ハロウィンでは、臨時売店でグッズなどの販売を行います。バラフェスタでは、バラの苗木や公園でも使用している資材などを来場者に紹介し販売します。また創成川ハロウィンでは、このイベントにちなんだお菓子やかぼちゃの小物を子どもが買うことができる金額に設定して販売します。



バラフェスタの臨時売店

イベント臨時売店（収益事業）					
実施時期/回数	バラフェスタ 6月/2日間	創成川ハロウィン 10月/1日間			
対象	公園利用者				
連携団体	公園ボランティア等				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	90,000円	90,000円	95,000円	95,000円	100,000円
支出予定金額	65,000円	65,000円	60,000円	60,000円	55,000円
収支予算	25,000円	25,000円	35,000円	35,000円	45,000円

### ③ 移動販売車出店（収益事業）

両公園で開催するイベントやバラの咲く時期のバラ園、夏期間の親子連れが集まる遊水路付近などでは、移動販売車による飲食の提供を行い、来園者の利便性の向上とサービス提供に努めます。



移動販売車出店（収益事業）					
実施時期/回数	随時				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	30,000円	35,000円	40,000円	45,000円	50,000円
支出予定金額	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円	5,000円
収支予算	25,000円	30,000円	35,000円	40,000円	45,000円

### ④ 大通西7丁目インフォメーションセンター&オフィシャルショップ運営（収益事業）

当協会では、平成19年度に、年間を通して利用可能なインフォメーションセンターを開設しました。国内外の観光客の情報源として年間約10,000人の方に利用されています。タブレット等の通訳システムにより外国人観光客へのサービス向上を図ります。

また、体の不自由な方や子育て層が気軽に利用できる環境整備の一環として、無料で車いすやベビーカーを貸し出し、利用者へのサービスを図ります。

一方、オフィシャルショップとしては、公園のオリジナル商品や「札幌スタイル」の認証商品など、札幌の魅力あふれる商品の販売も行っています。



インフォメーションセンター  
& オフィシャルショップ



ベビーカーと車いすの貸出

西7丁目インフォメーションセンター&オフィシャルショップ運営（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	3,500,000円	3,500,000円	3,500,000円	3,500,000円	3,500,000円
支出予定金額	2,800,000円	2,800,000円	2,800,000円	2,800,000円	2,800,000円
収支予算	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円

⑤ 西3丁目カフェテラス運営（収益事業）

大通公園で開催される大型イベント（ライラックまつり、さっぽろ夏まつり、オータムフェストなど）の協賛事業として、西3丁目にカフェテラスを設置し、飲食物等を販売します。



西3丁目カフェテラス運営（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	2,400,000円	2,400,000円	2,400,000円	2,400,000円	2,400,000円
支出予定金額	450,000円	450,000円	450,000円	450,000円	450,000円
収支予算	1,950,000円	1,950,000円	1,950,000円	1,950,000円	1,950,000円

⑥ とうきびワゴン運営（収益事業）

大通公園の風物詩である「とうきび」販売を継続し、市民や観光客へのサービス提供を図ります。西3・4丁目に常設で1店舗づつ、イベント開催時には5～7丁目に臨時で最大2店舗を増やして営業します。



とうきびワゴン運営（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円
支出予定金額	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
収支予算	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円

⑦ 自動販売機の設置（収益事業）

公園利用者の利便性を図るため、西2～7丁目及び西9丁目、西11丁目に自動販売機を設置します。＊ 協賛事業含む。

自動販売機設置（収益事業）					
実施時期/回数	通年				
対象	公園利用者				
年次目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入予定金額	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円
支出予定金額	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
収支予算	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円

## 年度別自主事業売上げ目標

(単位：千円)

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
各種イベント	40	40	40	40	40
イベント臨時売店	90	90	90	90	90
移動販売車出店	30	30	30	30	30
インフェメーションセンター & オフィシャルショップ	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
3丁目カフェテラス	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
とうきびワゴン	700	700	700	700	700
自動販売機	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
合計	8,760	8,760	8,760	8,760	8,760

### (3) 公園の課題把握及び理想像の実現

#### (3) - 1 公園の課題・理想像

両公園では、札幌を代表する大型イベントがシーズンを通して開催されており、多くの利用者により賑わいが創出されております。一方、大型イベントの開催にともなう占有物や進入車両、設営・撤去作業により、公園本来の魅力を感じとれる環境が減少している問題があります。また、同様に地域・市民によるイベント等の開催が難しい状況でもあります。

このことから、公園本来の魅力を感じ、子どもが気軽に楽しめる自主事業の実施、年間を通して市民満足度を得られるようなサービスの提供、地域・市民が主体となって開催できるイベント等の誘致を検討します。

### (3) -2 取組の具体的内容

#### 自主事業の実施

##### ① イベント

指定管理者が中心となり、子どもが自然に触れ合える体験、公園本来の魅力を知っていただくガイドツアー、気軽に参加できるように安価または無料での提供といった内容を用いてイベント形式で適宜開催します。また開催にともない、ボランティアが積極的に参加できる取組みを創出し、親しみを感じていただけるイベントづくりを目指します。

- ・ガイドツアー（大通公園、創成川公園）
- ・大通公園あそびの会（大通公園）
- ・創成川ハロウィン（創成川公園）

※ 詳細は5（2）-2を参照

##### ② サービスの提供

公園・観光案内、車いす・ベビーカーの無料貸出、公園オリジナル商品の販売といった年間を通して市民が快適に利用できるようなサービスを提供します。また、平成31年度より札幌観光協会からとうきびワゴンの運営を当協会が引継ぎ、大型イベントと連携しながら事業を展開しております。コロナ禍の厳しい状況下ではありますが、大通公園の風物詩であり、明治時代から伝統ある「とうきびワゴン」を引き続き、多くの利用者に提供します。

- ・西7丁目インフォメーションセンター&オフィシャルショップ運営
- ・とうきびワゴン運営（大通公園）

※ 詳細は5（2）-2を参照

#### 地域・市民主体によるイベント等の誘致

公園利活用協議会がきっかけとなり、地域主体で開催した「大通地区にぎわいフェスタ」（P.106）は、参加・利用といった一方方向のイベントとは異なり、地域手づくりで親しみを感じられるイベントとして成功を収めました。年間を通して大型イベントが開催されるため、日程の確保がとても難しい状況ではありますが、今後も公園利活用協議会等を活用し、地域主体となるイベント等の誘致を検討します。

## 6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

施設ホームページのウェブアクセシビリティを確保（日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠）するための取組について、以下の項目の内容を示してください。

### 【既存のサイトを継続して使用する場合】

◎ 適合レベル AA 準拠を達成するための作業スケジュール（現時点で AA 準拠を達成している場合はその維持・向上に向けた取組スケジュール） ◎ 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策 ◎ 試験実施予定時期及び方法 ◎ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等） ◎ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等 ◎ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

## 6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

### （1）既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保

当協会の既存サイトで現在公開している両公園のホームページを、引き続き改善しながら運用するとともに、次のとおりウェブアクセシビリティの確保に努めます。

#### ① 既に達成済みの適合レベル AA 準拠の維持・向上に向けた取組スケジュール

当公園のホームページについては、平成29年度に試験を行い、日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

今後のウェブアクセシビリティの維持・向上に向けた取組としては、毎年4月に担当職員を対象としたアクセシビリティ講習を行うとともに、「NPO法人手と手」や「公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会」等の福祉団体に年1回のチェックを依頼し、意見・助言をいただき対応します。

#### ② 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策

ページの新規作成時や修正時には、当協会で作成した「アクセシビリティマニュアル」に基づき適切に対応します。

#### ③ 試験実施予定時期及び方法

既に公開しているホームページは試験実施済みですが、ホームページのリニューアルや JIS 規格の変更があった場合は、速やかに JIS X 8341-3：2016「附属書 JB（参考）試験方法」に基づいた試験を行い、結果を公開します。

#### ④ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等）

上記◎ に示した対象職員へのアクセシビリティ講習や福祉団体からの意見聴取を行うほか、一般の利用者からも電子メール等で意見をいただけるよう、ホームページ上で案内します。

#### ⑤ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等

ウェブアクセシビリティに関わる問題が発生した場合には、担当者を決めて情報を集約し、専門業者と連携を取って解決に向けた対応を迅速に実施します。また、他公園、他ドメインにおいて同様の問題発生のおそれがある場合には、前もって対処します。

#### ⑥ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

ウェブアクセシビリティ対応の実績としては、両公園をはじめ、当協会が管理運営する札幌市指定管理施設のすべてのホームページ、及び当協会のホームページにおいて、既に日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

## 7 類似業務の実績について

都市公園の管理運営に関して、類似業務の実績がある場合には、その業務内容及び成果等について示してください。

## 7 類似業務の実績

### (1) 指定管理業務の実績

当協会は、当公園を含め、札幌市の公園・施設の指定管理者として、現在、次の29公園施設を管理運営しています（コンソーシアムによる管理運営を含む）。

総合公園	中島公園、円山公園、百合が原公園、モエシ沼公園、川下公園、平岡公園 前田森林公園、月寒公園
運動公園	厚別公園、農試公園、手稲稲積公園
特殊公園	大通公園、創成川公園、旭山記念公園、西岡公園、平岡樹芸センター
都市緑地	豊平川緑地（上流地区・下流地区）、山口緑地
地区公園	豊平公園、発寒西陵公園、北発寒公園、前田公園、星置公園、明日風公園 西岡中央公園、吉田川公園、清田南公園、北郷公園
施設	札幌市豊平川さけ科学館

### (2) 他公園・施設等における維持管理業務、その他緑化関連事業の実績

#### 国営公園の運営管理

- 当協会は、これまでの公園・緑地等の管理経験で培ったノウハウを活用し、一般財団法人公園財団との共同体の代表として、平成22年度から国営滝野すずらん丘陵公園の運営維持管理を継続して行っています。

#### 指定管理者制度以前の管理運営等業務

- 指定管理者制度の導入以前は、当協会が有する専門知識・技術等を活用して、札幌市内の大規模公園や市民ニーズの多様化、特殊化に対応する高度な管理技術を要する17の公園施設等（大通公園、中島公園、円山公園、百合が原公園、モエシ沼公園、川下公園、厚別公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、手稲稲積公園、前田森林公園、星観緑地、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）、手稲山研修センター）を管理運営してきました。
- その他、西岡公園、茨戸川緑地、五天山公園、西山苗圃、北方自然教育園、里塚霊園、平岸霊園、手稲平和霊園、荒井山緑地等においても維持管理業務を行ってきました。
- 業務遂行に当たり、基本的な維持管理・運営管理に加え、各公園・施設ごとに異なる仕様・特性に対しても工夫して管理に取り組むことにより、当協の公園運営能力の向上につなげ、これら公園・施設の価値を継続的に高めてきました。



## その他、公園の維持管理等に関連する業務の実績

■ 当協会ではこれまで、職員の専門技術や知識、資格等を活用して、次のような業務を受託・実施することにより、当協会独自の技術と管理ノウハウを蓄積してきました。

- ・ 緑のリサイクル調査
- ・ 各公園施設樹木診断・樹木移植
- ・ 公園土壌調査
- ・ 試験栽培技術指導
- ・ 街路樹灌水・清掃等
- ・ 札幌市本庁舎立体花壇設置
- ・ 公園砂場汚染対策調査
- ・ 農業センター跡地公園化検討
- ・ 試験研究圃場管理
- ・ 土壌分析
- ・ 各種観察会開催
- ・ 魚類・生物調査
- ・ 園芸・緑化等に係る講師派遣
- ・ 都市緑化サポート等の業務
- ・ 花と緑のネットワーク推進支援事業
- ・ プレーパーク推進支援事業 等

これらの業務の受託・実施においては、委託者の要求に適切に応えて良好な成果を上げることで、高い評価と信頼を得てきました。今後も当協会が有する知識、技術及び管理ノウハウを活用できる業務を積極的に受託し、広く社会に貢献するとともに、組織の経営基盤向上にもつなげます。

### (3) 当協会の業務における成果の代表事例

当協会では、設立以来の様々な管理実績を通して培ったノウハウを生かし、公園施設の管理運営業務等において、次のような有益な成果を上げています。

#### 北国さっぽろを基準とした植物栽培技術の確立・発信

ユリ（百合が原公園）やライラック（川下公園）、ウメ（平岡公園）など、公園のシンボルとなっている植物の管理技術や、バラ、ダリア、フクシア、ゼラニウムなど札幌の環境・風土に適する植物の栽培技術を確立して、北国さっぽろのまちづくりに相応しい植栽デザインや栽培方法などについて提案し普及に努めてきました。

特に川下公園のライラックについては、開園当時から多品種のコレクションの収集・生育管理と情報提供等を積極的に行ってきた結果、その継続的な活動が国際ライラック協会に認められ、2017年に川下公園が「President's Award」を、また長年ライラックの管理に携わった当協会職員が「Directors' Award」をそれぞれ受賞しました。

#### 人と自然に優しい公園管理

##### ④ 植物リサイクル

指定管理者として管理する全公園施設において、刈草、落ち葉、枝や幹などの植物系廃棄物を堆肥化又はチップ化し、樹木周辺及び園路等に敷き均すなど、可能な限り公園内で循環するよう、リサイクルに努めています。

## ② 化学農薬を極力使わない植物管理

化学合成された殺虫剤や殺菌剤、除草剤を極力使わない植物の維持管理を行い、安心・安全な公園管理を目指しています。例えば、植物の生育に大きな被害をもたらすコガネムシ類の幼虫の駆除のため、平岡樹芸センターでは、ボランティアとの協働で夜間に羽化した成虫を大量に捕獲するなどの対応を取り、一定の成果を上げています。

## ③ 生物多様性保全に向けた取組

公園・緑地をはじめ、札幌市内における生物多様性の保全については、以下にあげる各種の課題について、大学や専門機関、活動団体、ボランティア等との連携により継続して取り組み、状況の改善に努めています。

- ・ 特定外来生物であるオオハンゴンソウのほか、イワミツバ、ゴボウなど外来植物の駆除
- ・ トノサマガエル、アズマヒキガエル、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ミシシippアカミミガメ等の外来種を対象とした調査・啓発・駆除
- ・ 在来の希少種であるクリンソウ、クゲヌマラン、ヘイケボタル、オオムラサキ、ニホンザリガニ、カワシンジュガイ等の保全・啓発
- ・ 鳥類による食害防除、野生動物（リス、キツネ、鳥類など）への餌付けから生じる諸問題への対応



そして、札幌市環境局の生物多様性推進事業に協力するために、当協会は「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」に登録しているほか、百合が原緑のセンターなど4施設が「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」に参加し、スタンプラリーの開催や連携事業などを行うことで、生物多様性保全活動の活性化に貢献しています。

また、札幌市からプロポーザルで発注されていた「まちなか生き物活動」事業において、平成27年度の「タブレットで生き物情報を集めよう！」では、当協会が管理する円山公園、平岡公園、西岡公園でトノサマガエル、ヘイケボタル、野鳥を対象とした参加型調査に協力したほか、平成29年度の「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」においては、豊平川さけ科学館がプログラムの実施に協力しました。

## ④ 安全・安心な公園利用環境の提供

札幌市内でも郊外に位置する公園では、キタキツネを見かけることがあり、利用者からエキノкокス感染症に対する不安の声が寄せられることがあります。当協会では、安全・安心な公園利用環境の確保のため、北海道立衛生研究所や環境動物フォーラムなど専門機関の協力を得て、平成29年6月から、平岡公園において、試験的に駆虫薬入りのベイト（エサ）を毎月散布しています。そして、この取組の目的と実施内容を、ベイトがヒトや犬には安全であることを含め、ホームページで周知しています。今後は、この取組の効果の検証結果を受けて、他公園での実施についても検討していく予定です。

## 緑化の普及啓発

広く緑化の普及啓発を推進し、市民の園芸技術の向上を図るため、公園観察会、植物等の展示会及び園芸講習会や緑の相談など、様々な取組を行っています。

### ①公園観察会

スタッフが園内の見どころを解説しながら案内する公園ツアーや自然観察会は、公園の魅力を紹介するだけでなく、環境や生物等についても広く学べるため、多くの市民から好評を得ています。

### ② 展示会

ゼラニウムやフクシアなど、札幌の気候や生活環境に適した植物を紹介する展示会、盆栽やサツキ、セントポーリアなど、地域で活躍する植物同好会等との協働による展示会、市民が栽培したランなどの観賞植物の展示会、植物や生物などを活用した環境教育関連の展示会など、四季折々の工夫を凝らした展示会を開催して、市民の目を楽しませるとともに、新たなガーデニングへの関心を高めることで緑化の普及啓発を行っています。

### ③ 園芸講習会

市販の園芸に関する手引き書は、そのほとんどが積雪のない本州仕様で、積雪寒冷地の札幌市民にとっては参考にならないことが多々あります。当協会では、長く培ってきた札幌の気候に適した技術・ノウハウ等を市民に普及するため、スタッフによる様々な園芸講習会を開催し、市民の園芸知識及び技術のレベルアップを図ってきました。

### ④ 緑の相談

園芸に関する様々な相談に答える「緑の相談」については、3箇所の相談所に専門の相談員を配置し、全国屈指の数の相談を受けています（令和3年度は計14,742件）。北国札幌の園芸特性に対応し、冬越しの管理など、一般の書籍などでは正確な情報を得ることが難しい質問に対しても、分かりやすく適切な回答に努め、市民からは高い評価と信頼を得ています。

### ⑤ 基金事業による取組

民有地の緑化と、緑化の普及啓発を図るため、次の事業を札幌市都市緑化基金事業として実施しています。（カッコ内は令和3年度の実績）。

- 札幌市の木であるライラック他花木の苗木配布（475本）
- 壁面緑化のためのツタ苗補助（3件、14株）
- 町内会等へのプランター無料貸出し（4団体、100基、花苗500株）
- 小・中学生を対象とした緑の絵コンクールの開催（参加59校、339点）
- 札幌市内公園・緑地のフォトコンテストの開催（応募204名、695点）
- ガーデニングボランティアの養成を目的とした講座・実習プログラムの実施  
さっぽろまちづくりガーデニング講座（受講者12名 全17回）  
17回のうち5回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し次年度に振替
- 花や緑を切り口とした緑化プランに対する助成金交付の募集
- 園芸に関する知識や技術を解説する冊子を配布  
すくすくみどり№30 「初めての宿根草～誰でもかんたん・宿根草ガイド～」  
(4,000冊)

## ⑥ さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業（札幌市委託事業）

札幌市から標記事業を毎年受託し、緑化協会が事務局となり、花と緑のまちづくりに関心を寄せる市民や団体を募って登録し、その活動を広く市民・企業などへ情報発信し、みどり豊かなまちづくりの輪を広げています。ワークショップや定期的な講習会の開催、会報の発行、ホームページの運用などで花と緑に関するネットワークを広げ、人と人を結ぶことで新たな活動創出のきっかけづくりを行い、成果は着実に広がっています。

## ⑦ ガーデニングボランティアの養成

公園をフィールドとした花と緑のボランティアを募り、各公園の実情に合った講義や実習などを通して、公園の美観の維持向上に活躍していただいています。

## ⑧ 園芸等に関する小冊子の発行

緑と花に関する小冊子「すくすくみどり」を発行し、各公園のほか市役所・各区役所などの公共施設で配布しています。また、バックナンバーについては当協会ホームページで公開しています。

## ⑨ 「まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック」の出版

ガーデニングボランティアの養成を目的として、平成20年度からの5年間にわたり、当協会の主催で開講した「さっぽろ緑花園芸学校」の講義・実習の内容をベースに、52名の専門分野の講師によって執筆された、ガーデニングやまちづくりに関するハンドブックを平成26年度に出版しました。北国のまちづくりを広くカバーする充実した内容が好評を博しています。

## ⑩ 外部への講師派遣等

当協会において、スタッフ各自が専門知識・技術の研鑽とその共有に努めてきた結果、現在、さまざまな団体・法人等から講習会・講演会の講師や専門委員としての依頼をいただいております。当協会が果たすべき使命・役割の一環として積極的に引き受けています。

## 市民参加・協働の推進

現在、当協会が指定管理者として管理する20の公園・施設において、46の団体に計800名近いボランティアが登録し、活発に活動しています。また、円滑なボランティア活動を推進するため、各公園・施設にボランティアコーディネーターを配置してボランティアの養成と支援に努めています。

このほか、市民や地域の団体等によるイベントを積極的に誘致し、誰もが参加できるように明るく楽しいイベント運営をコーディネートしています。

## その他

### ⑪ プレーパーク（子どもの外遊び）の推進

当協会は、平成23年度から毎年、札幌市子ども未来局の「プレーパーク普及啓発・活動支援業務」を受託し、既存の活動団体の支援と市内各区のプレーパーク活動の芽のサポートに継続して取り組んできました。また、外遊びにかかわる様々なテーマについて実践

的な講座を開催し、子どもの遊びを見守るプレーリーダーの新たな発掘と育成にも努めています。

公園・緑地における子どもの外遊びをより活発にするため、今後も公園の管理運営と連携してプレーパーク活動支援の取組を推進していきます。

## ② 子どもたちによる生物調査活動

当協会では、環境教育の一環として、子どもたち自身により生物調査を行う取組である「西岡ヤンマ団」を平成19年度に、「西岡さかな組」を平成21年に結成し、西岡公園の自主事業としてトンボと魚類の調査を実施してきました。参加する子どもたちは、現地で直接生物と接し、調査結果を整理して考察し、成果を発表することを通して、生物に関する興味関心を深め、自然環境の大切さを学びます。子どもたちの活動には、卒業生や保護者もサポートで参加しており、地域活動の活性化にもつながっています。

これらの取組は、下記のとおり、これまで様々な賞を受けています。

受賞内容		主催者	
ヤンマ団	H23	ジュニア自然環境賞	(一財)前田一步園財団
	H27	コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28	さっぽろ環境賞 札幌市長賞(市民・団体部門)	札幌市
	H28	こどもホタルレンジャー2016 水環境保全賞	環境省
	H28	こども環境学会賞 活動賞	(公社)こども環境学会
	H29	道新地域げんき大賞	(株)北海道新聞社
	H30	小中高生ポスター発表 優秀賞	第89回日本動物学会札幌大会
さかな組	H28	コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28	クリオネ賞	(公社)日本水環境学会北海道支部
	H29	水環境文化賞「児童・生徒の部」(みじん子賞)	(公社)日本水環境学会
	H30	小中高生ポスター発表 優秀賞	第89回日本動物学会札幌大会

## ③ 効率的な管理運営

当協会は、メリハリのある管理運営計画や人員配置の工夫などを行うことで、より効率的な管理運営体制を構築してきました。特に、スタッフの専門知識・技術を生かして、公園・施設間で柔軟にスタッフを配置・活用する「みどりの価値向上プロジェクト」(P.23)が、公園・施設の運営と事業を活性化させています。

## ④ ノウハウの共有と品質・サービスの向上

札幌市の公の施設及び国営滝野すずらん丘陵公園の管理運営などにより培ったノウハウを、組織全体の財産としてスタッフ間で共有することにより、全公園・施設の品質向上や利用者サービスの向上につなげています。

## 8 札幌市内の企業等の活用について

### (1) 活用についての考え方

当協会では、物品の購入と外部への委託等については、札幌市内の企業・団体を優先的に活用しています。

#### (1) - 1 札幌市内の企業・団体を活用する理由

- ・ 地域経済の発展に寄与するため。
- ・ 優秀な技術、商品等をいち早く入手するため。
- ・ 地域の高度な技術や優良製品等が市民の目に留まる機会となるため。
- ・ 商品等の輸送時に排出されるCO<sub>2</sub>の抑制に貢献するため。

次の優先事項を考慮して、当公園の管理において、適切な市内企業を選定し活用していきます。

#### (1) - 2 札幌市内の企業・団体の中での優先事項

- ・ 福祉施策に積極的に取り組んでいる企業
- ・ 環境に配慮した商品や技術を有している企業
- ・ 福祉施設・団体等が生産する物品等の調達
- ・ 地域の風土、素材、デザイン、特産等を生かした札幌らしい商品・サービス等の調達

### (2) 活用に向けた具体的な取組

当協会では、上記の理由及び優先事項に適合する札幌市内の企業や商品等を適切に選定するために、次のとおり取り組みます。

- ① 当協会が管理する公園・施設間の情報を共有して、企業のコンプライアンス・信用力、業務の体制や実績等を総合的に見極めて事業者を選定するよう努めます。
- ② 商品の適正価格、品質、サービスの柔軟性等の要素についてよく検討して、管理経費の節減と適切な業務遂行に相応しいものを選びます。
- ③ 新聞、テレビ、インターネット、情報誌等により、札幌市内の企業や商品等の情報収集に努め、積極的な活用につなげます。
- ④ 札幌市中小企業振興条例の理念に則り、中小企業や個人経営者の受注機会を増やし、地域の商店などの活性化に努めます。
- ⑤ 「令和4年度札幌市障害者就労施設等からの物品等の調達方針」の趣旨を理解し、障害者就労施設等からの物品・販売商品等の調達や業務の委託などの継続・拡大に努めます。